

## 第14回グローバル・コミュニケーション・プログラム（GCP）チームリーダー募集要項

### 1 目的

国際的に活躍できる人材の輩出を目指し、2大学1高専（東京都立大学（以下、「都立大」という。）、東京都立産業技術大学院大学（以下、「産技大」という。）及び東京都立産業技術高等専門学校（以下、「高専」という。））の学生が、所属や年齢が異なるメンバーでチームを編成し、共通の課題に取り組むことで課題解決力（人間力）や英語を含むコミュニケーション能力を身に付けながら、国際的な感覚を養うことを目的とする。

### 2 プログラム概要

グローバルビジネスに関連したテーマを題材とし、リーダーの明確なリーダーシップのもと調査研究、仮説設定・検証を行い、課題に対する提言を行う。

参加学生は、本プログラムを通じてグループワーク、英語研修、国内及び海外でのフィールドワーク、海外学生との協働による調査や交流等を行い、異なる学校や学年間での学生同士での共同作業による組織人能力の向上、国際感覚溢れる実践的な課題解決力（人間力）を身に付けるとともに、英語を含むコミュニケーション能力の向上を図る。

### 3 求める人材

- (1) チームリーダーとしてチーム活動を先導し、チームで協調しながら課題に取り組むとともに、リーダーシップの習得に意欲的な学生
- (2) 海外での多様な体験を通して国際的な感覚を養うことに意欲的な学生

### 4 対象者（募集時点）

#### (1) 都立大 学部生

3年生以下を対象とする。但し、都立大大学院及び産技大への進学が決定している4年生も対象とする。

#### (2) 都立大 大学院生

##### ア 博士前期

1年生を対象とする。但し、都立大大学院及び産技大への進学が決定している2年生も対象とする。

##### イ 博士後期

2年生以下を対象とする。

#### (3) 産技大

1年生を対象とする。但し、都立大大学院への進学が決定している2年生及び長期履修制度による2年生も対象とする。

#### (4) 高専生

##### ア 高専専攻科に進学が決定している、もしくは都立大3年次に編入が決定している本科第5学年の在校生

##### イ 高専専攻科第1学年の在校生

##### ウ 都立大大学院又は産技大への進学が決定している高専専攻科第2学年の在校生

※上記（1）から（4）までの対象者のうち、過去にリーダーとして本プログラム（中止

となつた第8回GCPは除く)を受講したことのある者は除く。

## 5 募集人員

6名程度

### <チームの構成等>

- ・チームリーダー(1名)と高専本科生(5名程度)から成るチームに、高専教員をアドバイザーとして配置し、チームを編成する。

### <構成員の役割>

- ・チームリーダーは、プロジェクトが円滑に進むよう、チーム活動を先導し、チーム及びプロジェクトのマネジメントを行う。
- ・メンバーは、他のメンバーと協力し、チームリーダーを支え、プロジェクトを遂行する原動力となる役割を担う。
- ・高専教員は、プロジェクトの円滑な進行のために、リーダー及びメンバーの相談に乗るアドバイザーとしての役割を担う。

## 6 実施時期及び期間

- (1) 国内におけるプログラム: 2026年3月~2026年11月  
(※リーダーは2026年2月、3月にリーダーオリエンテーションを2日間程度、先行実施予定)
- (2) 海外におけるプログラム: 2026年8月下旬から9月上旬の9日間程度

## 7 海外における現地活動プログラム実施場所

シンガポール共和国又はマレーシア(どちらに派遣するかは課題によって事務局が指定する)

なお、プログラム運営の都合上、渡航先は必ずしも希望に沿えないことがある。希望と異なる渡航先になった場合でも、必ず本プログラム終了まで参加することを了承の上で応募すること。

## 8 プログラム実施内容(予定)

- (1) 国内におけるプログラム【事前学習】

### ア 課題学習

- ・下記を参考の上、チーム毎にテーマを設定、調査・研究の実施、仮説の立案
- ・国内フィールドワーク(テーマに関連する企業などへのインタビュー等)
- ・各チーム合同による課題学習の中間発表、有識者による講義受講、国内合宿等
- ・各チームの進捗確認等を全体で実施
- ・プレゼンテーション研修

**国際的人財育成のためのグローバルビジネス研究プロジェクト**  
**－世界に羽ばたく国際人へのジャイアントステップ－**

高専生メンバー数名と都立大生・産技大生・高専専攻科生のいずれかのリーダーとでグループを作り、アジアの同年代の学生や国内外の企業等の協力を得て、世界共通の課題について調査研究し、世の中のニーズに応えられる製品やサービスなどの新しいアイディアによる解決策の提案を行う。

- ・詳細に関しては、別紙1を参照すること。
- ・チーム毎の調査テーマは、プログラム開始時に、リーダーが中心となって設定する。

**【参考】 過去のグローバル・コミュニケーション・プログラム調査テーマ**

「日本と一緒に旅をする友達を探すマッチングアプリ「TABITOMO MATCH」の提案」

「外国人観光客の鉄道利用を生成AIで最適化する方法の検討」

「再生可能エネルギーを用いた持続可能なエネルギー社会の実現へ向けて」

「子どもと自然でつなぐ未来の一歩～子供に自然体験を届ける仕組み～」

「シンガポールの若者バイトマッチングプロジェクト「Saving Chin-Han」—」

「Kenko365 -健康を持続可能にする新しい仕組み-」

**イ 英語学習（コミュニケーション能力向上研修）**

- ・コミュニケーション能力向上研修（希望者には週1回計12回程度の対面レッスン予定 変更の可能性あり）

研修支援会社の設置する各教室での対面受講、自宅等からのオンライン受講のいずれかの方法で実施する

**ウ リーダー研修（3月に2日間程度。4月以降随時。）**

**エ TOEIC、RIASEC コンピテンシー測定テスト受験（4月受験予定）**

**(2) 海外におけるプログラム**

**ア 課題学習**

- ・海外フィールドワーク（テーマに関連するインタビュー等）

**イ 英語による現地学生との協働調査・交流・合同プレゼンテーション**

**ウ 日系海外企業の事業調査**

**(3) 国内におけるプログラム【事後学習】**

**ア 報告書の作成、最終報告会の実施**

**イ プrezentation研修（2日間程度、9～10月実施予定）**

**ウ TOEIC、RIASEC コンピテンシー測定テスト受験（9月～11月に受験予定）**

(4) スケジュール（予定）

全体スケジュール			課題学習	英語学習
2026	2月	事前学習	○リーダーオリエンテーション①	
	3月		○リーダーオリエンテーション②	○テーマ設定案の検討
	4月		○全体オリエンテーション ○TOEIC、RIASEC受験 ○リーダー研修① ○全体研修①	○テーマ設定 ○個人目標設定 ○現状の把握 ○課題の把握・分析、解決策の検討 ○仮説の立案 ○中間報告におけるプレゼンテーション準備 ○コミュニケーション能力向上※ (チームリーダー：研修支援会社が設置する各教室または本校にて対面受講、自宅等からのオンライン受講いずれかを予定) (受講の場合週1回 計12回)
	5月		○全体研修② ○リーダー研修②	
	6月		○国内合宿（全体研修③） 都内での合宿、3日間程度	○国内フィールドワークの実施 ○プレゼンテーション準備及びフィールドワーク準備等 ○進捗確認等
	7月		○中間報告会 ○全体研修④ ○リーダー研修③	
	8月		○全体研修⑤～⑥ ○リーダー研修④ ○渡航前説明会 ○プレゼン研修①	○課題の検証（フィールドワーク） ○英語によるプレゼンテーション ○現地学生交流 ○企業調査
	9月	海外学習・事後学習	○海外派遣 ○プレゼン研修②	○英語プレゼンテーション準備 (1日程度) チーム毎に受講予定
	10月		○全体研修⑦～⑧ ○TOEIC、RIASEC受験 ○プレゼン研修③ ○最終報告会	○英語プレゼンテーション準備 (1日程度) チーム毎に受講予定
	11月		○全体研修⑨	

※全体スケジュールの記載事項は原則として全員参加とするが、TOEIC

スコア500点以上又はTOEIC500点以上に相当するTOEFL、IELTS等のスコアを取得している場合は英語学習（コミュニケーション能力向上）の参加を任意とする。

## 9 経費負担

研修経費の負担は以下のとおりとする。なお、負担経費の確定は、2026年度の本プログラム実施予算が決定する2026年4月1日以降とする。

なお、プログラム期間中の途中辞退については、「15 プログラム途中での参加辞退について」のとおり自己負担が発生する。

(1) 参加者個人負担分は(2)以外の諸経費とする。

<例>

- ア 国内及び海外プログラム（上記8参照）においてフィールドワークを実施した際やチームごとに自主活動を行った際に発生する交通費及び食事代
- イ 国内合宿参加中の交通費及び食事代
- ウ パスポート申請手数料
- エ 海外旅行保険料（個人用）
- オ その他個人で支出する費用

(2) 東京都公立大学法人負担分

- ア 海外プログラムに係る渡航費及び宿泊費
- イ 国内及び海外プログラムに係る研修受講料
- ウ 英語学習に係る研修受講料・テキスト代
- エ TOEIC、RIASEC受験料
- オ 国内合宿に係る宿泊費
- カ 国内及び海外プログラムの実施に係る諸経費
- キ 研修参加時の往復交通費（支給上限あり）

## 10 出願

(1) 出願書類

- ア グローバル・コミュニケーション・プログラム参加申込書【様式1】
- イ 志望動機【様式2-1】、課題学習のテーマについて興味のあること【様式2-2】
- ウ グローバル・コミュニケーション・プログラム参加承諾書【様式3】
- エ 学生証（写）
- オ 成績証明書（写）及び成績通知書（写）  
※学部1年生は提出の必要なし。また、修士・博士1年生及び編入生は、最終学歴の成績証明書のみを提出すること。
- カ 語学能力を証明する書類（任意）  
※証明する書類がない場合、提出は不要  
※TOEIC、TOEFL iBT、IELTS等。（2024年1月以降のもの）

(2) 出願方法

上記(1)の書類に必要事項を記入・作成の上、LoGo フォームから提出すること。

<https://logoform.jp/form/8NJ9/1315711>

(3) 出願受付期間

2025年12月8日（月）から2026年1月7日（水）まで

## 1.1 選考

### (1) 選考方法

提出書類及び面接の結果により、総合的に判断し、プログラム参加者を決定する。

### (2) 面接の実施

面接は別途、日時を指定する（1月下旬～2月上旬予定）。応募者が多数の場合、書類選考の上、面接受験者を決定する。なお、定められた面接実施日に欠席した者は応募辞退とみなす。

### (3) 書類選考結果の通達日及び面接実施日の通知

出願書類受領時に別途通知する。

## 1.2 結果の通知

合否に関わらず、応募者全員に選考結果を通知する。（2月中旬予定）

## 1.3 応募書類に記載された個人情報の利用について

応募で提供された個人情報は、選考の目的以外には使用しない。

## 1.4 特記事項

海外におけるプログラム実施前に、戦争、テロ、自然災害、感染症等が発生した場合、派遣延期または中止することがある。また、派遣中に同様の事態となった場合においても、帰国の勧告又は命令を行うことがある。

## 1.5 プログラム途中での参加辞退について

### (1) 本プログラムを参加途中で自己都合により辞退した場合、「9 経費負担」（2）東京都公立大学法人負担分に記載した経費の一部を本項（2）により参加者に負担させる。

なお、プログラムの辞退理由が以下ア～エに該当する場合は、辞退による自己負担は免除とする。アについては死亡届の写しまたは医療機関の診断書、イ・ウについては公的機関発行の各種証明書等、エについては本法人の所有する各組織発行の学籍移動許可書で事実確認を行う。

ア プログラム期間中に本人又は保護者・保証人の死亡や重大な疾病・怪我の発生による場合

イ プログラムの開始から渡航日前までに発生した家計の急変による、経済状況の急な悪化による場合

ウ プログラム期間中に本人もしくは保護者・保証人が、大規模な災害により被災した場合（対象の災害は学校が別途指定する）

エ プログラムの開始から、6月末までに、退学・転学を理由とする学籍移動が発生し学籍移動届を提出して受理され、かつ異動届の期日どおり学籍移動を行った場合。なお、本項目における辞退については、辞退が発生した時点までにかかった交通費は、自己負担とする。

### (2) 経費の負担内容は、次のとおりとする。

- ア プログラム開始から 6月末までに辞退した場合  
TOEIC、RIASEC 1回分の受験料、国内合宿の宿泊費、辞退届提出日までに出席した全体研修、リーダー研修及びオリエンテーション実施会場までの交通費。(計 5万円程度)
- イ 7月から最終報告会の開催日までに辞退した場合  
TOEIC、RIASEC 2回分の受験料、国内合宿の宿泊費、辞退届提出日までに出席した全体研修、リーダー研修及びオリエンテーション実施会場および空港までの交通費、航空券に関する費用(航空券、燃油サーチャージ、空港使用料、各種税金)、現地宿泊費(計 30~40万円程度)

## 16 その他

- (1) スケジュールに掲載されているものについては、原則として全員参加とする。参加にあたっては、前回プログラムスケジュールを確認の上、申込を検討すること。欠席及び遅刻状況によっては、以後のプログラムへの参加を取り消す場合がある。また、本プログラム受講中に留年が決定した者は、その後のプログラムは受講できないものとする。出席不良による事務局からの参加取り消しによる経費負担は、自己都合辞退と同一に取り扱う。
- (2) 海外プログラム参加時(2026年9月)までに、TOEIC スコア 500 点以上を取得することを目標とすること。
- (3) 本プログラムを受講した者は、その経験を活かし、次年度以降の GCP 事業に協力すること。
- (4) プログラムでの活動の様子は写真・動画等で撮影され、後日公開されるため、あらかじめ了承すること。

## 17 問合せ先

東京都公立大学法人 経営企画室経営企画課連携推進係  
電 話 : 03-5990-5968  
メールアドレス : gcp-leader@jnj.tmu.ac.jp